

5月ひまわりクラブの山行案内

阿蘇高岳1592m ～仙酔峡のツツジと岩の鷲ヶ峰を眺めて山頂へ

今回は、昨年6月が雨天のために中止しましたので、再度5月にチャレンジします。ルートも仙酔峡の登山口から左の仙酔谷を花酔橋で渡り、ミヤマキリシマ群落の中の遊歩道を歩いて仙酔尾根取付に行きます（鷲見岳）。高岳火口縁まで一直線に続く尾根は、溶岩流からなり草も生えていない所です。

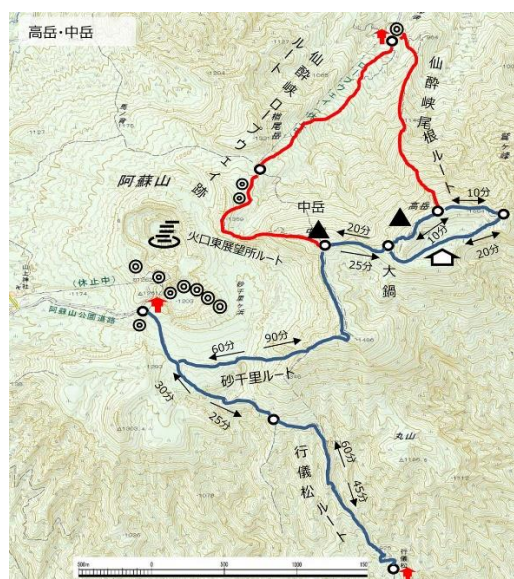
この季節はミヤマキリシマの咲き始めです。道は凝灰角礫岩のゴツゴツしており歩きづらく日差しをまともに受けるので登下降はつらいです。標高1200メートル地点に溶岩壁が立っています。壁の隙間を縫って出た広い斜面は、短くジグザグを切って登る。右手は切り立つ壁、左は急傾斜の岩場です。行く手が火山礫や砂となると、左に鷲ヶ峰の岩塔、岩稜が平行します。頭上に高岳火口縁、左には中岳、火口東駅とロープウェイ、檜尾岳と赤茶けた視界が広がります。足元から仙酔峡、小堀牧と緑の牧野が広がって見えます。正面に低い壁が見えて左側が溝状になったところを乗り越えますと、わずかな砂斜面から高岳に続く火口縁に着きます。正面に大鍋の火口、月見小屋が見えます。この火口縁を西に行く道をめざしますと高岳山頂に着きます。高岳は、五岳の最高峰。山頂から四方をさえぎるものがない展望がひらけます。東方に祖母・傾山、南方に脊梁山地の山群です。北方は隣り合わせにくじゅう連山。晴れた日は西方に雲仙も遠望できます。下山は、頂から稜線の右へ回りこんで、展望台に続く吊り尾根へ下り、登り返して火口東壁展望台へ。その遊歩道から下りて出発点の登山口へ戻ります。

日時 5月19日(日曜日) / 集合 労山事務所 6:00 → / 経路 労山事務所 → 中央郵便局 6:10 → 諸富町産業会館(駐車場) 6:30 → 仙酔峡 9:00(登山口) 準備運動など 9:30。出発 → 鷲見平 9:40 → 火口縁 11:30 → 高岳 11:40 → 中岳 12時頃 → 昼食休憩。12:30に下山 → 火口東壁展望台 13時 → 元の登山口 13:40分頃 → 14時バス出発 → 温泉「アゼリア21」 (一の宮町5812 電話0967-22-5311) 15:30出発 → 18時30分労山事務所へ帰佐予定。

・参加費 一人3,500円。

・申し込み方法:「やまびこ4月発行以降。4月9日(火曜日)18時より“ライン”又は電話」で。事務所の電話は、4月10(水)19~20時まで。17(水)、24(水)、5月1(水)、8(水)5月15(水)＝締切日まで受け付けます。0952-29-8497まで

(参考地図)



凡例	
◎	退避壕
▲	山頂
—	通行可
—	通行不可
↑	登山届記帳箱
☼	噴火口
🏠	月見小屋 (無人、休憩用)

